

研修会

淡水のカメ

佐藤一枝〈千葉市〉

日時：2014年7月19日〈土〉9:00~12:00

場所：匝瑳市 八日市場の川と八日市場公民館（講義）

講師：小賀野 大一氏 及び協力者（千葉県野生生物研究会）4名

参加者：10名

《野外観察会》 田園風景の広がる川に到着。川には、前日、小賀野先生と研究会の先生方で仕掛けて下さっています。仕掛けのところに〔**せんによる採捕許可標識**〕が標されています。網を引き揚げるときの・・・ワクワク感！ アッ、カメ。クサガメ がかかっていました。

クサガメ まず小鹿野先生が体重・年齢・大きさを測り、甲羅の決められた位置にマーキングと実践、して下さる。特徴・年齢の数え方・雌雄の区別を教えて頂き、実際、手にして観察。クサガメは臭い！？…後ろ足の付け根を嗅いでみてとの助言に、嗅いでみると“**強烈な臭さ**”でした。臭腺があり、そこから臭いを発する。外敵から身を守るためでしょうとのお話でした。（なお、「せん」とは、かごや筒を使用して獲る漁法のこと）次々と仕掛けを揚げるとクサガメばかり。ところが黄色っぽいカメが1匹、**ニホンイシガメ**です… 記録して、皆で観察。クサガメと比べてみました、



いるかな?! 網上げを体験。

カメって可愛い!とうれしそうな人、初めて持ったという人も、

《淡水カメの生態と保全》 主な内容:日本の淡水カメ類・千葉県の淡水カメ類・カメ取り巻く現況と保全について学びました。その中でクサガメについて・・・外来種であることを知り…驚いています。クサガメの確認ができたのは19世紀はじめの百科辞典【本草綱目啓蒙】が最初とされる。江戸時代朝鮮半島経由で日本に持ち込まれた外来種である。と講義を終わりました。

☆ カメをこんなによく観察したことはあったでしょうか? 各自、手にしてまじまじと観察。記録の方法などと貴重な体験学習でした。小賀野先生と先生方、本当にありがとうございました。

感想 ①初めてイシガメを触って観察することができました。クサガメとの違いもじっくり見ることができ感動しました。講師のお話も大変興味深く聞くことができました。②昔から人との係わりが多い“カメ”、意外と知られていない。初めての研修会、大いに勉強になりました。次回は、東葛・千葉でぜひ。③とても良い勉強になりました。④カメの調査の仕方が良く分りました。外来種のカメが多いことが驚きでした。⑤クサガメがたくさんワナにかかったのも、たくさん生息していて嬉しいと思ったが、これも外来種で、イシガメを駆逐してしまうので、駆除したほうが良いと聞き唖然とした。公園等でアカミミガメが愛嬌を振りまいているが、それはそれで、イシガメとの共存を避けて住み分けて、暮らせるようにしたらよいとのことである。イシガメ保存会等立ち上げられているのか、積極的にふやす手だてがあるのか、産卵も観察してみたい。